



寒川 文連だより

第38号

発行
令和6年03月31日
寒川町文化連盟
会長 田中秀昭
神奈川県寒川町倉見2101-20
☎ 0467-75-7745

2023年度（令和5年）の総括

寒川町文化連盟 会長
田中 秀昭



長く続いたコロナ禍も、昨年5月以降、コロナ感染症が5類感染症へと移行され、コロナは完全に終息はしていないが、世間の動きが長く続いた閉塞感から脱却の兆しが見えてきたかと思っていれば、新年早々、能登震災やJAL事故などがあり、波乱の年明けとなってしまいました。お亡くなりになった方々のご冥福を祈るとともに、被災者及び関係者には心よりお見舞い申し上げます。そして、この3年間余のコロナ禍の中、文化連盟傘下各団体は、「うつらない、うつさない」の感染対策をとり、何とか活動、発表を継続し続けられたことに、感謝しますと共に、敬意を表します。

さて、そうした中、今年を振り返ってみると、事業については、本部事業『第9回青少年文化ふれあいデー』は名称を「さわかわ文化ふれあいデー」と変え、4年振りに開催することが出来ました。「ふれあいデー」は、参加団体の知恵と工夫を凝らした催し、恒例の「メダカ・風船のプレゼント」「児童へのお土産」に加え、今回は「ミニ電車の運行」の企画を用意し、PRにも力を入れ、多数の来場者（親子連れ）があり、一応の成果が見られたかと思えます。

■ 2023年度新理事の紹介

2023年度は理事2名の交代がありました。
新理事に松原 不二男 理事（寒川町菊花会）、新井 泰春 理事（寒川俳壇）が交代されました。



松原 不二男 理事



新井 泰春 理事

新任の理事（2名）



松本 美智子 前理事
（寒川俳壇）



藤好 清晴 前理事
（寒川町菊花会）

交代の前理事

■ 本部活動状況



第1回理事会（総会）4月22日
来賓挨拶の木村 俊雄町長（写真左）と挨拶の田中秀昭会長（写真右）



第1回実行委員役員会（5月10日）
実行委員会歴開資料等、事前の打合せ
実行委員（会）＝文化祭実行委員会



第4回役員会（5月25日）
「第9回寒川文化ふれあいデー」の実施計画や
課題・役割担当等を打ち合わせる。



第9回さわかわ文化ふれあいデー（7月20日（土））ミニ電車、メダカ、バルーン配布企画、参加団体の体験型の催しを開催、期待を上回る成果（盛況）をあげることができた。



第14回校長会訪問（8月25日寒川東中学校）
校長会に時間を頂き、文化連盟からは活動内容
の紹介を、学校からは行事情報等をお聞きした。



第54回寒川町文化祭式典（10月7日）
キャッチコピー表彰者と来賓及び主催者の
記念撮影。

『学社連携・融合』では、14回目の「町小・中学校校長会」との懇談会を行いました。

「小・中学校の文化的行事は、小学校は一部実施、中学校の行事は、一般公開はせず保護者のみなので、参観は見合わせました。

『第54回文化祭』では、コロナ感染症対策の制約・制限のない、普通の開催で、式典後の「ヤングダンスフェスタ」も4年振りに復活、参加各団体は、舞台の部、展示の部、展示及び実習の部で日頃研鑽の結果を発表、特に中学生の「呈茶席」・「芸能舞踊会」の踊りの参加や「音楽協会」での吹奏楽演奏及び一般の音楽サークルのエントリー等は、文化祭を盛上げ、町民参加の文化祭として意義あるものと感じました。

『傘下団体の会員増強』の課題では、このコロナ禍の3年間は、各団体には会員高齢化の悩み、会員減少に追い打ちとなり、現状維持も大変だったかと思えます。しかし、文化活動の継続、継承には、「会員の増強」は必須です。

改めて、「仲間を増やす」に工夫等努めて頂くようお願い申し上げます。

終りに、少しでも各団体の文化活動のPR等で会員の増強の一助になればと「文連だより」、「アルバム文連だより」を発行し、各団体の活動等の内容をお届けするものです。



高橋 多賀江 副会長



田中 秀昭 会長



三津 勇 副会長



堀 洋己 監事



新保 千代美 監事



土屋 トミ子 会計



小林 正光 事務局長

本部役員

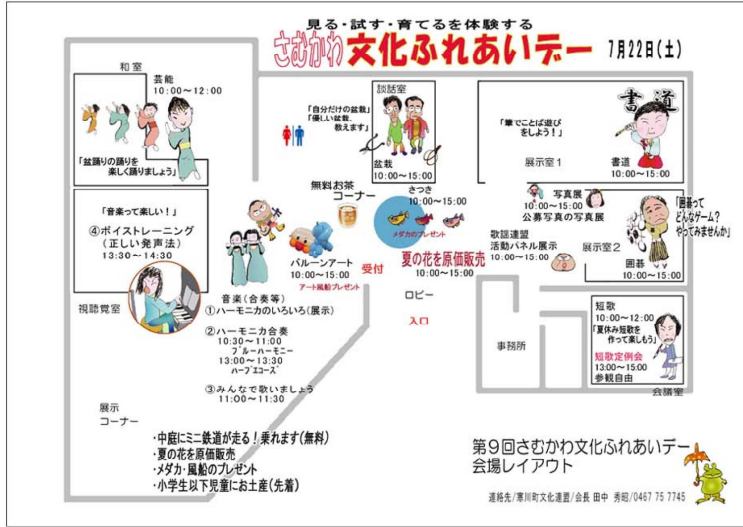
2023年度は全事業を成し遂げることができました、理事・会員並びに関係機関の皆様方のご協力に感謝致します。

また2024年度も引き続き宜しくお願い致します。

第9回さむかわ文化ふれあいデー

本部の仕事 2023年7月22日(土) 寒川町民センター

参加者数
 延べ947名(内スタッフ81名)
 配布菓子数131名(児童数)
 バルーン数300個
 ミニ鉄道乗客208名
 メダカ450匹(3~5匹/人)



会場案内図



ポストカードのデザイン



集客を目的にしたイベント



受付、おみやげ (131個) その他給配布



夏の草花の(原価)販売

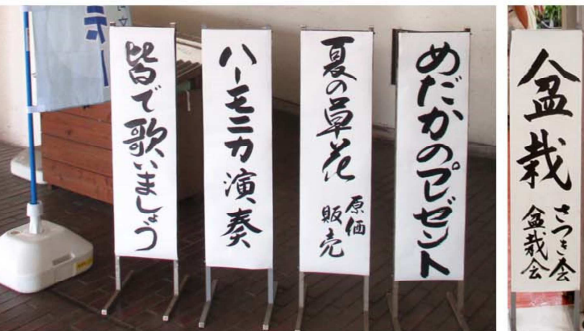


ミニ鉄道(中庭)



円内バルーンのプレゼント 冷茶の準備、補充 弁当手配

PRは町広報(さむかわいい、スキップ、LINE)、タウンニュースに掲載していただいた。



各種看板(書道連盟 中島香代子会長揮毫)



会館窓のポスター(7月10日から掲示)

野ばら文化会 「夏休み短歌を作って楽しもう」



皆で看板のレイアウトを検討

参加状況	
男性	3名
男児	3名
女性	6名
女児	4名
スタッフ	
男性	2名
女性	7名
計	25名

ふれあいデー短歌一首をつくりたり
初めての歌記念に残る
木内

夏休み胸ふくらませ始まりぬ
九月一日はるかに遠し
新井泰春

ふれあいデーしゅうじをかいたよちさがかいたの
ブランコ大すきだいたい大すき
ちさ

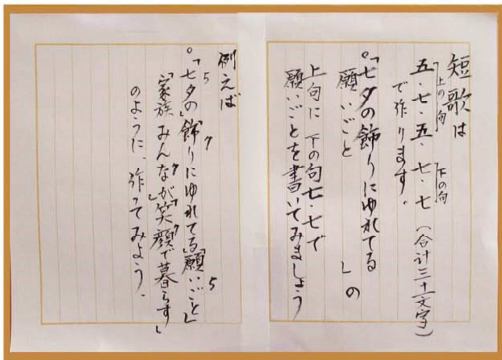
ふれあいデーミニ電車に乗った
楽しかった一周以上乗れたかった
くすえみのる



午後の短歌定例会の様子



添削作業や各種指導は片隅で意見交換しながら行うのが有効とのこと。



短歌の心得



野ばら文化会会員と杉本照代先生（前中央）

思ったより子供達が大勢来てくれたのが良かった。短歌を作るところまでに繋がらないのは残念。男性1人、女性1人、女児1人の作品が出来たのは収穫。

寒川町芸能舞踊会 「盆踊りの踊りを楽しく踊りましょう」



お揃いの半纏、統一感と以外にも涼しさがありました、生地のせいかな。



会場（和室）には若干狭さを感じ、撮影が難しい時間帯もありました。
(編集者)



- 来場者状況
- 男 児 2 名
 - 女 性 3 6 名
 - 女 児 3 名
 - スタッフ
 - 女 性 7 名
 - 計 4 8 名

初めて参加する人が多く、大いに盛り上がりました。
右写真、役員です。



寒川町盆栽会 「自分だけの盆栽、優しい盆栽教えます」



女性、学童でも盆栽に興味を持つ方が多い。



名称不明のヒバ、要調査。



参加状況

男性	6名
男児	30名
女性	50名
女児	55名
スタッフ	
男性	6名
計	147名



フウチソウ、アジサイ、シダ、モミジ、マツ、西洋カマツカ、その他



鉢植えの種類が多く、多くの質問があった。



寒川町盆栽会の皆さん



日頃お世話になっている、学び推進課の職員(右3名)

寒川書道連盟 「筆でことば遊びをしよう！」



参加者
 男性 37名
 男児 36名
 女性 96名
 女児 58名
 スタッフ 13名 (女性)
 計 240名



受付、抽選で色紙（カードサイズ）がプレゼントされる。



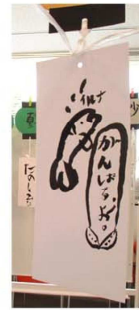
設営、書道連盟の強者



プレゼント作品を急遽追加制作の中島会長。



大人も子どもも書を楽しむ



思い、想いの短冊を表現！



書道連盟の皆さん



プレゼント作品の一部



寒川さつき会 メダカのプレゼント



参加者状況

メダカ	450匹
3～5匹/人配布	
	125名
スタッフ	
男性	1名
女性	2名
計	128名



メダカの配布

殆どが親子連れ、メダカすくいを楽しんで頂ました、
子供達の楽しむ姿が良い風景でした。
親子のふれあいができたのではと思います。

メダカのブームは継続中で、盗難の
ニュースがいまだに絶えません、そんな
中での配布は子供達にとって嬉しいイベント
と思います、大切に育てて頂きたいです。
(編集委員)



スタッフ（役員）の皆さん

寒川音楽協会 「音楽ってたのしい」

ブルーハーモニー (10:00~11:30)



演奏曲目「涙の連絡船」など7曲

参加状況	
男性	20名
男児	4名
女性	40名
女児	6名
スタッフ	
男性	5名
女性	9名
計	84名



各種ハーモニカの展示

ハーブエコーズ (13:00~13:30)



演奏曲目「シボネー」など7曲



息を吸って音をだす楽器は、笙とハーモニカだけです、息をはいて吸うハーモニカは健康にとっても適しています。

正しい発声法 (13:30~14:30)



洋楽の発声法の勉強・電話をかける時の声を基に段階を経て習得。皆さん結構褒められていました。



最後に成果発表の合唱

寒川町囲碁連盟

「囲碁ってどんなゲーム？
やってみませんか」

参加状況	
男性	4名
男児	12名
女性	4名
女児	1名
スタッフ	
男性	16名
女性	5名
計	42名

教本



特に午前中は盛況であった、お誘いすると母親が子どもに「やってみな」と勧めてくれた、声掛けの効果が大きかった。



寒川町囲碁連盟の皆さん